

3. 学生相談室活動報告

1) 個別相談状況

平成24年度の学生相談室の相談体制は、専任カウンセラー2名、非常勤カウンセラー1名（週2日5時間）、兼任カウンセラーは人文社会科学部の1名の心理学教員（週1日90分）であった。平成24年度の来談者は334名、のべ来談者数（相談回数）は1704名であった（23年度277名 / 1803名）。1人あたり平均5.1回の相談を重ねたことになる。1回の平均面接時間は約50.4分であった（専任カウンセラー分のみ）。主要な相談統計を表1～9に示す。なお、表7は相談内容の分類法を示したものであり、全国学生相談研究会議の専任カウンセラーが中心になって作成した「学生相談の共通分類」（下山ら、1991）によっている。相談状況の概要は以下のとおりである。

- ・全体に23年度よりも実来談者数は増加したが、相談回数はやや減少した。これは23年度の急増により、新規来談者の予約の取りにくさや危機対応への備えという課題が生まれ、継続面接の周期を調整したことが理由と考えられる。
- ・最近の特徴として4年生（留年生含）の相談の増加傾向が続いている。さらに今年度は修士課程学生の相談が26名から41名に増えたことも特徴である。4年生以上と大学院生の来談者を合わせると全体の46.4%にもなる。主な相談内容は成績不振による留年、就学意欲の減退、卒業修了後の進路での迷い、研究室不適應である。
- ・教職員からの学生に関する相談や、教職員の勧めで来談する学生の増加傾向も続いている。不適應傾向がみられる学生への教職員の働きかけが多くなってきたことの表れと思われる。来談経路別来談者数で、昨年度以前からの継続・再来に次いで教職員の勧めが多いことも今年度の特徴である。
- ・メールや電話は、学生に関して教職員や家族と連絡や連携する際に使用していることがほとんどである。
- ・教職員の自分自身の問題での来談は23名から16名に減っている。主な相談内容は、23年度と同様に精神疾患と人間関係（ハラスメント含）である。
- ・相談内容は、昨年度同様深刻で面接を重ねる必要がある心理性格の相談が中心であった。発達障害やそれを疑われる学生の修学上・生活上のサポートが増えていることも一因であろう。

2) リラクゼーション・スペースの利用

簡易ベッド、ボディソニック・チェア、エアロバイク、椅子とテーブルを配置したリラクゼーション・スペースの平成24年度の利用者は134名であった。一般学生その他、学生相談室に来談した対人恐怖傾向のある学生の一時的な休息場所としても利用されている。

3) 心理テストの利用

学生相談室では就職や進路選択、自己分析の際の一つの資料として利用してもらうために希望する学生に対して心理テストを実施している。行っているのは「YG性格検査」、「東大式エゴグラム」、「VIP職業興味検査」である。24年度は3名の受検者があった。

表1 性別来談者数

性別	来談者数	%
男	165	49.4
女	169	50.6
合 計	334	100.0

表2 学年別来談者数

学年	来談者数	%
1 年 生	45	13.5
2 年 生	48	14.4
3 年 生	52	15.6
4 年 生*	114	34.1
修士課程学生	41	12.3
博士課程学生	2	0.6
教 職 員**	16	4.8
そ の 他	13	3.9
不 明	3	0.9
合 計	334	100.0

* 農学部獣医学科5、6年生・留年生を含む

** 教職員の学生の件での相談は含まない

表4 来談経路別来談者数
(常勤・非常勤カウンセラー対応分のみ)

来談経路	来談者数	%
新入生向けパンフレット	21	6.3
ポスター・ウェブ	25	7.6
友人の勧め	12	3.6
センター診療室の勧め	28	8.5
教職員の勧め・来談	49	14.8
家族の勧め・来談	32	9.7
カウンセラーの講義	5	1.5
継続・再来・その他	144	43.5
不 明	15	4.5
合 計	331	100.0

表3 所属別来談者数

所属	来談者数	%
人文社会科学部	62	18.6
教 育 学 部	64	19.2
工 学 部	109	32.6
農 学 部	70	21.0
教 職 員	16	4.8
そ の 他	10	3.0
不 明	3	0.9
合 計	334	100.0

表5 相談形態別のべ来談者数

形態	相談回数	%
面 接	1319	77.4
電 話	185	10.9
電子メール	199	11.7
そ の 他	1	0.1
合 計	1704	100.0

表6 相談対象別のべ来談者数

対象	相談回数	%
本 人*	1438	84.4
教 職 員	165	9.7
家 族	86	5.0
友 人	6	0.4
そ の 他	9	0.5
合 計	1704	100.0

* 学生および教職員本人

表7 相談内容の分類

心理性格	心理的問題、性格理解、アイデンティティの確立など、自己の心理状態や性格に関する相談
対人関係	家族関係、友人関係、異性関係等の、対人関係に関する具体的なトラブルについての相談
心身健康	精神疾患、身体疾患への対処などの、心理面あるいは身体面の健康上の問題に関する相談
進路修学	就職、進学、再受験などの進路の問題、あるいは単位や勉強法などの修学上の問題に関する相談
学生生活	サークル活動、アルバイト、悪徳商法等の、学業以外の学生生活上の問題に関する相談

表8 相談内容別来談者数

相談内容	来談者数	%
心 理 性 格	184	66.4
対 人 関 係*	48	17.3
心 身 健 康	33	11.9
進 路 修 学	52	18.8
学 生 生 活	11	4.0
そ の 他	6	2.2
合 計	334	120.6

* ハラスメント相談を含む

表9 相談内容別のべ来談者数

相談内容	相談回数	%
心 理 性 格	943	55.3
対 人 関 係	132	7.7
心 身 健 康	450	26.4
進 路 修 学	160	9.4
学 生 生 活	14	0.8
そ の 他	5	0.3
合 計	1704	100.0